

2009年4月10日

サッポロビール株式会社
課税移出(引取)数量報告<2009年・第一四半期分>

サッポロビール(株) 広報室

下記の通りご連絡申し上げますので、よろしく御取計ください。

単位:KL、千函、%

<課税移出>		本年キロリットル	本年大瓶換算	前年比	前年キロリットル	前年大瓶換算
①ビール	国産	78,586	6,207	▲ 20.9	99,342	7,847
	輸入	1,304	103	▲ 0.7	1,313	104
	小計	79,889	6,310	▲ 20.6	100,655	7,951
②発泡酒	国産	9,513	751	▲ 49.9	18,985	1,500
	輸入	0	0	-	0	0
	小計	9,513	751	▲ 49.9	18,985	1,500
③新ジャンル		56,939	4,498	41.4	40,269	3,181
総計(①+②+③)		146,342	11,559	▲ 8.5	159,909	12,631

*国産は課税移出、輸入は課税引取り。大瓶換算は1函=12.66%

*前年比は1函単位の実数から算出しているため、千函・万函単位の本表の表示数からの逆算とは異なることがある。

*全ての数は表示の1桁下を四捨五入して算出。

<ブランド別販売状況>

単位:万函、%

	<累計>		
	本年函数	前年比	前年函数
黒ラベル	399	▲ 21.2	507
エビス計	192	▲ 8.0	209
発泡酒	75	▲ 50.0	150
ドラフトワン	152	▲ 49.0	298
麦とホップ	228	-	-

<第一四半期のトピックス：数字は販売数字>

市場動向：ビールは、前年比約89%、発泡酒は同約84%、新ジャンルは、同約125%と推定されます。ビール・発泡酒・新ジャンル合計の総需要は、前年比約95%と前年を下回った模様です。

当社全般：ビールは、79.2%と前年を下回りました。

発泡酒は、50.0%と前年を下回りました。

新ジャンルは、「麦とホップ」が好調で、136.4%と前年を大きく上回りました。

ビール・発泡酒・新ジャンル合計は、前年の値上げによる仮需の反動等で、一時的に90.1%と前年を下回りましたが、トレンド的には、昨年を上回るペースで推移しています。

<3月のトピックス：数字は販売数字>

当社全般：ビール・発泡酒・新ジャンルの合計の単月は、前年の値上げによる仮需の反動等で、一時的に約2割下回りましたが、トレンド的には、昨年を上回るペースで推移しています。

ビールの単月は、前年を下回りました。

発泡酒の単月は、前年を下回りました。

新ジャンルの単月は、前年を約2割上回りました。

黒ラベル：単月は、前年を下回りました。

エビス：エビスブランド合計の単月は、前年を下回りました。

ドラフトワン：単月で約53万函でした。

麦とホップ：単月で約84万函でした。

冷製SAPPORO：3月25日発売で約48万函でした。

※新ジャンル計の課税出荷数量は以下のとおりです。

当月課税移出数量(国産) 「25,619KL≒2,024千函」です。

以上